

科目名	コーチング実習A						年度	2026	
英語科目名	Coaching practice A						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	鷲田、HY-PROJECT、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ/日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ4/日本スポーツ協会公認テニスコーチ4・日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1		
【科目の目的】 日本スポーツ協会公認テニスコーチ1・2/日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ/テニス教師の取得に向けて、学内外で指導者としての指導実践経験を積み、テニス・ソフトテニス業界人としての資質の向上を目指します。									
【科目の概要】 テニススクール、地域クラブ、学内などでコーチングの現場実習を行います。									
【到達目標】 A チーフコーチとしてレッスンを運営することができる B アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることができる C 大きな声でハッキリと指示が出せる・復唱できる									
【授業の注意点】 現場実習中は教員・スクール関係者の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにしてください。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	チーフコーチとしてレッスンを運営することができる		代行でチーフコーチとしてレッスンを運営することができる		レッスンの一部分でメインコーチとしてレッスンを運営することができる				
到達目標 B	アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることができる		アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求にある程度答えることができる		アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることがあまり上手くない				
到達目標 C	大きな声でハッキリと指示が出せる・復唱できる		ある程度大きな声で指示が出せる・復唱できる		大きな声でハッキリと指示・復唱があまり上手くない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 テニス指導教本1・2									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コーチング実習A			年度	2026
英語表記		Coaching practice A			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	指導現場実習への参加について	1 実習参加の規定	コーチング実習Aについて理解している	3	
			2 実習参加の意味	自身で実習参加の目的を理解している		
			3 目標設定	短・中・長期目標を立てられる		
2	レッスン①	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
3	レッスン②	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
4	レッスン③	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
			3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解できる		
5	レッスン④	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
6	レッスン⑤	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
7	レッスン⑥	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
			3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解できる		
8	レッスン⑦	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
			3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解できる		
9	レッスン⑧	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
10	レッスン⑨	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
11	レッスン⑩	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
			3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解できる		
12	レッスン⑪	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
			3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解できる		
13	レッスン⑫	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
14	レッスン⑬	コーチングスキルの向上	1 実践	レッスン参加を通じてスキルアップができた	3	
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた		
15	振り返り	評価	1 フィードバック	自身の活動を振り返り今後に活かすべき点を理解している	3	
			2 新たな目標設定	新たな短・中・長期目標を立てられる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等